

文化・娯楽

三味線で伝える「鄙歌」

7日、本條秀太郎の会

三味線演奏家の本條秀太郎「写真」の会「鄙歌」ひなうた「伝えゆく詩達」うたたち



が五月七日午後二時から東京・紀尾井小ホールで開かれる。人気シリーズで七回

目。

鄙歌(歌)とはその土地に根差した歌謡。本條が集めた曲は二千曲以上で、今回はその中から「北前船が運んだ歌」「女たちが伝えた歌」を軸に展開する。二部構成で一部は演奏、二部はトークと弾き語り。北海道の民謡「江差追分」、石川県の民謡「山中節」など三十曲を予定。本條は「このホールは生歌で三味線音楽を楽しめる最高の環境。二部では洋服で登場したい」と話している。

(真壁聖一)